

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.113

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [chiba@life-line.tv](mailto:chiba@life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

## 「神に向かってあいている窓」

OMF ザ・チャペル・オブ・アドレージョン 牧師 池田 創造

2011年という新しい年を迎えた皆さんはどのような希望をもって歩み始めたでしょうか。今年こそ、あれこれを成し遂げよう！という思いをもってスタートした方は少なくないと思います。しかし、2011年ももうすぐ1か月が過ぎようとしています。新年に掲げた目標は達成できず、または忘れてしまったものもあるかもしれません。現実の生活では成し遂げなければならないことが山ほどあるのです。

ダニエルには、必ず成し遂げなければならないことがありました。それは、ライオンと戦うための筋力トレーニングでも、権力を持つために知識を蓄えたり人脈を上げたりすることでもありません。ダニエル書6章10節に次のように記されています。「ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。」ダニエルは三度の食事のように、神様の前に出て、祈りをささげること生活を最優先に置いたのです。なすべきことが多くある一日の中で、神様の前にひざまずく行為は、活動の一時停止を意味します。不安を乗り越え、恐れを克服する信仰が必要です。ダニエルは、この祈りの生活を通して、バビロンの地で囚われの身であっても、神様の前で生きることのすばらしさを体験しました。もう一つダニエルの祈りの生活で注目したいのは、彼の家です。祈りをささげるダニエルの家にはある特徴がありました。「彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた」のです。たまたまそうであったわけではありません。意図的に窓が設けられていたのです。あの荒廃したエルサレムに向かって祈りをささげ続けたのです。エルサレムが信仰の対象ではなく、かつてあったような神様との関係を熱望し、回復を祈り続けました。

神様によって生命が与えられ、イエス様によって罪の赦しがもたらされ、聖霊によって永遠の生命が保証されている私たちは、何を中心にして普段の生活を営んでいるのでしょうか。不景気や人間関係の悪化など、様々な心配事に対して活動することで精一杯になっています。しかし、人は神様に向けてあけられている窓を設けなければ、真の平安と祝福を得られないのです。神様は一方的な愛に裏付けされた義の光をすべての人に照らし続けています。毎週土曜日午前7時からのライフ・ライン放映によって、神様に向けてあけられている窓が多くの方々に設けられています。イエス様が自ら、私たちの力では届かないところに臨んでくださるのです。千葉県でライフ・ラインが用いられることを願い、共に祈りましょう。「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」(ヨハネの黙示録3章20節)